

岩手県 グループホームあつたかいごひといち

(部分は外部評価との共通評価項目です)

自己評価票

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者を社会の一員として尊厳し、温かい環境の中で生活できるように支援する内容となっている。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼時に心構えと運営理念の承服を行っている。また、その内容を見やすい所に掲示し、確認できるようにしている。	
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居時や運営推進会議の際に説明するようにしている。また、定期的にホーム便りを作成。ホームに掲示したり、家族や近所の方に配布するなどし理解、浸透に努めている。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩や買い物に出かけ、近所の人と挨拶を交わしたり、話をする機会がある。また、近所の方が歌や語りのボランティアにきていただいたり交流を深めている。	
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会、商店街および商工会の会員として、地域のお祭りや行事等に積極的に参加している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	人材育成の貢献とし、訪問介護養成実習生の受入れや介護ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	○	今後は近所の方も含めた救急救命法の実施などを行っていききたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価を職員全員で行い、サービスの向上に努めている。外部評価の結果を職員に周知し、改善を要するものは改善に向けて努力している。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在取り組んでいる内容について報告し、家族・地域住民・民生委員や行政の方々より意見を頂き取り組んでいる。また、今年からは近隣交番にも出席を願い、より良い施設運営を図るよう努めている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村へ同事業所とともに定期的にホーム便りの送付やPR等報告、情報交換する機会を設けている。また、在宅復帰や転居の際には事情を説明し相談協議している。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見人が必要なケースについては管理者が主に対応しているが、職員には資料を配布し学習に努めつつ、対応の万全に努力している。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待や身体拘束について資料を配布し防止について理解を深めている。また、業務日誌に虐待防止に関する項目を設けている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際、時間をとり重要事項説明書・契約書を示しながら説明を行い理解を深めている。退去の際も、本人・家族・ケアマネとよく話し合い・説明を行っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は常日頃から利用者の意見をよく聞くように努めている。出された意見は運営や日々のケアに生かしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪時に最近の暮らしぶり及び必要に応じ健康状態を報告している。また、定期的に広報紙の発行、運営推進会議の内容についても報告している。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設置。また、意見箱も設置し無作為に投書できるようにしている。家族には定期的なサービス担当者会議の際に意見、不満を聞くようにしている。	○ 家族会がないため、今後は家族が参加する行事などを利用し、意見交換ができるよう検討していきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の際、施設長も参加し情報交換を行っている。また、職員会議での意見や提案は法人内での運営会議に報告し、より良い施設づくりを目指している。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の生活スタイルや状態に合わせてローテーションを組んでいる。また、事前にわかったものに対しては勤務調整し、突発的な出来事に対しては時間外で対応している。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に、職員を固定化し顔馴染みの職員によるケアを心がけている。また、新しい職員が入る場合や、やむを得ず離職・異動する場合には、利用者へ報告している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外で開催される研修には多くの職員の参加に努めている。また、研修後は職員会議で報告、研修復命書を全職員が閲覧するようにしている。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の定例会に参加。また、同市グループホーム等と親睦会や市の行事に合同参加するなど交流・情報交換を行っている。	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	無理なシフトを作らず、話し合う等し勤務環境づくりをしている。また、他グループホームとの親睦の場をつくり気分転換を図れる機会をつくっている。提案、提言を含め発言する機会の場を設けている。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	ホーム長は職員の努力や勤務状況を把握し、上司に報告している。また、資格や研修を習得しやすいよう勤務調整をしている。定期的に健康診断を行い、健康の保持増進に努めている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前には必ず利用者と面談し、不安や困っていること・希望などを伺うようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの状況や困っていること・心配していることなどをゆっくりと話し合う機会を設け、事業所としてどのような対応ができるか事前に話し合いを行っている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い・状況等を確認し、利用者に適した支援を見極め対応している。また、必要に応じ包括支援センターや他事業所に相談している。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に本人や家族に施設の見学、お試し利用できる場を設定している。また、職員が自宅を訪問、併設施設利用者には声をかけたり、会話する機会を設け安心感を持ってもらうよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に料理を作ったり、掃除をしたりし、支援する側支援される側という意識を持たず、お互いが協働・協調しながら和やかな生活が送れるように支援している。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	訪問時や電話時に利用者様の様子や職員の思いを報告したり、生活歴を聞くなど情報収集、相互理解に努めている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族、本人の思いや状況を見極めながら外出や外泊を勧めたり、家族と一緒に行事や旅行を計画し、より良い関係の創出に努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅近くにドライブに行ったり、馴染みの方が訪問された際にはゆっくり会話ができる雰囲気の醸成に努めている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	毎日の食事やおやつ時間は職員も一緒に多くの会話をもつようにしたり、利用者同士の関係が円滑になるよう日々支援している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も気軽に来所されるように声かけたり、気軽に相談できるよう声かけを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中から、やってみたい事・食べたい物などを常時引き出すよう声かけするなどしている。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を利用し、入居時に生活歴や職歴を聞き取り、入居後は本人の語りや、家族・知人の訪問時など少しずつ把握できるよう努めている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人の生活リズムを理解すると共に、行動や小さな動作から感じ取り、全体像を把握するようにし努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族には日々の生活の中で、思いや意見を聞くと共に、月1回カンファレンス・モニタリングを行い、その中で話し合った内容をもとに介護計画の作成を行っている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の生活の状況や月1回のカンファレンス・モニタリングで話し合った内容、本人や家族の要望に応じて見直しを行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の用紙に、日々の暮らしの様子や本人の言葉を記入している。また、業務に入る前に記録の確認や情報の共有に努め、介護計画の策定に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	施設内設置の訪問看護ステーションと医療連携体制をとり、利用者の健康管理を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が安心して地域での暮らしを続けられるよう、運営推進会議を利用し、警察や民生委員と意見交換をしている。また、近所の方や婦人会・保育園にボランティアにきていただき触れ合う機会を設けている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の希望や状況に応じて、訪問理容サービスやボランティアの見守り支援を利用したり、併設のデイサービスを訪問できるよう支援している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員の参加を得、周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。受診・通院は基本的に家族に対応し、緊急時や不可能な際は家族と相談のうえ職員が代行している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医師や協力医師は認知症に理解があり、受診時には職員の相談にのり、支援していただいている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	施設内の訪問看護ステーションと医療連携し、日頃の健康管理や医療面での相談・助言・対応の情報を気軽に情報交換できる体制が確保されている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には職員が頻繁に見舞い状態確認に努めている。また、家族や担当看護師と情報交換を行い、回復状況を確認しながら退院支援を行っている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する対応指針を職員が共有し、家族・かかりつけ医・訪問看護師を交えて話し合いを行っている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人や家族の意向を踏まえ、随時家族と話し合い、利用者が安心して終末期を過ごせるようチームで検討。最大限のケアができるよう努めている。また、急変時にはすぐ対応して頂けるよう医療機関とも密に連携を図り、対応している。		
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの暮らしの継続が損なわれないように、これまでの生活環境、支援の内容、注意が必要な点について本人や本人に関わる関係者から情報収集し、リローケーションダメージを最小限に食い止めるよう努めている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>		その日をどのように過ごしたいか、よりいろいろな選択肢の中から、自分で決め、納得した生活ができるよう引き続き柔軟に対応していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>		
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、時間や習慣を把握。トイレで排泄できるよう支援している。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望にあわせ週に2回以上入浴できるよう支援している。また、入浴拒否の方は無理をせずタイミングを見て声かけを行っている。		併設のデイサービスはトゴール鉱石を使用した準天然温泉システムを導入しているので、休みの時には利用し、温泉気分を味わっている。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めている。また、利用者の状態や体調、希望にあった室内の明るさや室温を整え、ゆっくり休息がとれるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や食事作り、カーテンの開閉や施錠確認など、得意分野で一人一人の力を発揮してもらえるよう、利用者ができそうな仕事を頼み、感謝の言葉を伝えるようにしている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て少額のお金を持っている人もいる。持っていない方でも買い物時に好きな物を買うことができ、買った時には施設で立替、後日家族に精算していただいている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気、本人の希望や状況に合わせて買い物や散歩、ドライブなどを行っている。また、季節肌で感じられるお花見や近所のお祭り、紅葉ドライブ等計画し外出する機会を作っている。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望や状態を見ながら、演劇や民謡大会など見物に出かけている。また、予め計画を立て、職員の勤務を調整しながら、家族と共に少し遠出し温泉旅行を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	日常的に要望のあった際は、電話や手紙を出せるよう支援している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族や知人・近所の方の訪問があった際は、利用者が居心地が良いと思われる場所で会話ができるように努めている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日々の業務日誌に欄を設け身体拘束の有無を点検している。また、職員には関係書類を配布し共有認識に努めている。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はなるべく鍵をかけずに生活できるよう出入口にセンサーを設置。外出しそうな利用者がいればさりげなく声をかけたり、一緒について行く等対応している。また、やむを得ず鍵をかける場合は施錠確認表に理由を記入している。		夜間は1人体制となり居住スペースも2階となる為、家族に了解を得て、戸じまりとし19時30分から翌日8時30分まで鍵をかけている。しかし、その時間内でも家族より連絡を受けていればできるかぎり対応するように努めている。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は利用者と同じ空間で記録等の事務作業を執りながら、さりげなく全員の状況を把握するように努めている。夜間は、利用者に合わせ1時間に数回様子を確認すると共に、起きた時にすぐ対応できるように工夫している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の希望や状況により、はさみ・爪切りなどを自分で管理している。薬や注意の必要な洗剤類は、利用者の目の届かない場所や手の届かない場所、鍵のかかる書庫などで職員が管理している。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態から予測される危険を検討し、食事形態の変更など随時工夫しながら取り組んでいるが、事故が起きた場合は、早期にヒヤリハットや事故報告書に原因・反省点・防止策等記入・回覧し、再発防止に努めている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の協力を得て、誤嚥時の対応や蘇生法など救急救命法の研修を実施し、すべての職員が対応できるようにしている。また、防火管理者の資格取得に職員を受講させている。また、受講予定している。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、避難訓練を実施。近所の方に緊急協力員となっていたりいただき情報を提供している。また、市や他施設からの情報をもとに非常用食料・備品・水の確保をしている。	○	現在までの避難訓練では、夜間想定や緊急協力員を交えた避難訓練が実施できていない。今後の為にも緊急協力員や近所の方を交えた避難訓練を検討していきたい。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	介護計画所に起こりえるリスクを掲載し家族へ説明している。また、本人の状況から着脱しやすい衣類や履物を検討し家族に相談、少しでも自立した生活ができるよう支援している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い、食欲・顔色・排泄状況などの情報を記録し、職員全体が把握できるようにしている。また、様子がおかしい際には、状態を訪問看護師に相談し、助言をいただき早期対応に努めている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬の内服状況や作用等を服薬管理棚に掲示し、職員が内容を把握できるようにしている。また、薬の処方や容量の変更があった際には訪問看護師に情報提供している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維質の多い食材や乳製品を取り入れ、水分量の確認、家事活動や軽体操などの運動を心がけている。また、訪問看護師と相談しながら下剤の調整を行うなどその人に合った対応をしている。	○	取り組んではいるが、便秘に悩んでいる利用者が多い現状にある。もっと幅広い考えを持ち、いろいろな側面から便秘予防を検討し、対応していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	右記記入の活動と共に、毎食後の歯磨きの声かけを行い、残存能力に応じて、職員が見守り、介助を行っている。		現在市の歯科診療所と協力し、口腔筋エクササイズ「メディカルパタカラ」を実施。定期的に口腔内健診を受けている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況を毎日チェック表に記録し、情報を共有している。また、献立は法人内の栄養士の献立によりバランスを考慮し、助言をいただいているが、食事量の少ない利用者には、家族と相談し、高カロリーゼリーや好きなお菓子を持ってきてもらい対応している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年利用者及び家族に同意をいただきインフルエンザの予防接種を受けている。また、研修会にも参加するなど、職員全員で早期発見、早期対応ができるよう努めている。		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板や布巾等は毎回塩素系洗剤で漂白し清潔を心がけている。また、食材は産地や賞味(消費)期限確認しながら購入し、冷凍・冷蔵している。食材の残りは頻繁に鮮度や状態を確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	明るく親しみやすい玄関となるよう、花を置いたり、春にはつるし雛、夏には七夕飾り、秋にはジャンボカボチャをおくなど季節感を演出している。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂には季節のお花や小物を置いたり、手作りのカレンダーや、花火やお祭りの時期にはポスターを貼るなど、季節感を意識的に取り入れるようにしている。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下の中央に椅子、フロアに畳スペースを置き、くつろげるスペースを確保している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際本人や家族にお願いし、写真や使い慣れた棚・テレビ、椅子や布団類を持ってきていただいている。また、家具の少ないお部屋でも手作りのカレンダーを貼るなど安心して過ごせるよう環境の創出に努めている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	掃除時や天候により換気を行っている。また、フロア等に温度計・湿度計を設置し、冷・暖房を調整し適温で過ごせるよう配慮している。消臭対策としては、フロアとトイレに置き型消臭剤のほかスプレー式の消臭剤を準備し悪臭が出ない工夫をしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	備品環境係を設置。常に利用者の状態に合わせて、手すりやトイレ、廊下などの居住環境が適しているか見直し、安全確保と自立への配慮をしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者にわかりやすいよう、自室・トイレ・居室には表札を取り付け、視覚からも情報が得られるよう工夫している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の裏に畑があり、作物の成長・収穫を楽しんでいる。また、段差プレートを設置し車椅子の方でも畑を近くで楽しめるようにした。		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

商店街に位置し、市の行事は玄関前道路で行われることが多いため、その都度見物をしております。地域と商店街振興協同組合や自治会に加入し積極的に交流を行い、地域に根ざした施設となるよう努めております。また、今年5月から市と協力しメディカルパタカラ（器具を使った口腔周囲筋エクササイズ）を取り入れ、利用者の健康・能力維持、認知症の安定を図るなど、利用者が安全に楽しく生活できるよう取り組んでおります。